

求むInnovation Partners!!

イブニング サロンNEWS

2011 2/23 第20号
(年6回発行)

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会
事務局・東方通信社
TEL: 03-3518-8844



駅に設置された同社製のAED

最近、よく駅などで見かけるようになったAED(自動体外式除細動器)。AEDは、けいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室

日本光電工業(株)

世界的なシェアを持つ 医療機器のパイオニア

細動)になった心臓に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器。これまで医師でなければ取り扱うことができなかったが、04年から一般市民でも使えるようになり、駅以外でも空港や学校、球場などの公共施設に設置されるようになった。

このAEDを主力商品のひとつとして販売しているのが、日本光電工業である。同社のAEDは音声ガイド付きで使いやすいため、一般市民による救命件数も増えている。また、東京マラソンでは公式スポンサーとなり、AEDも提供。実際に同社のAEDで心停止したランナーが一命を取り留めている。

そもそも同社は、医療機器メーカーの先駆者の存在である。もともとは脳波計の開発・販売からスタートしており、現在でもこの分野では国内シェア90・9割(05年)と圧倒的な



コンパクトで高機能な同社の心電計

T161-85600
東京都新宿区西落合1-31-4
TEL03-5669-8000
<http://www.nihonkoden.co.jp>

実力を誇っている。この他、集中治療室、手術室、一般病棟などで利用されている生体情報モニタの開発に初めて成功したのも同社だ。この分野でも国内シェアはトップである。支店網も世界中に展開しており、筋電図検査装置、ポリグラフ、除細動器などは、海外でも高いシェアを持っている。まさに日本を代表する医療機器メーカーといえる。

2月23日(水)、第29回目の「新都心イブニングサロン」が開催される。今回のテーマは「医療福祉イノベーション」。医療福祉の技術が発展することによって、尊い命が救われる可能性が増している。しかも、この分野でも日本の技術レベルは高く、世界的に活躍している企業も多い。最近、政府は「医療観光ビザ」を解禁し、外国人富裕層の誘客を開始しているだけに、ますます注目を集める分野といえる。

命を守り、世界に羽ばたく!! 日本の「医療福祉イノベーション」

二次電池の検査装置で 高機能、低価格を実現

東洋システム(株)

最近の携帯電話やノートパソコン、デジタルカメラといった携帯機器には、Li・ion電池(リチウムイオン二次電池)が広く使われている。Li・ion電池は小型軽量で大容量なうえ、放電途中から充電しても満充電にすれば、充電量をフルに活用できるなど多くのメリットがある。

東洋システムは、このLi・ion電池を研究開発する際に不可欠な試験装置の開発を行っている。たとえば電池の充放電を評価する装置「TOSCATシリーズ」は、主に二次電池、キャパシタなどを開発する際に用いられるサイクル試験や特性試験には欠かせない装置となっている。評価装置のラインナップも充実しているため、携帯機器で使われる小型の電池から、ハイブリッドカーなどに使われる大型の電池にまで対応。これ以外の複雑なニーズでも、オーダーメイドで対応している。安全性、高機能、高精度を実現しながらコストパフォーマンスも優れているため、顧客からの評価は高く、専門メーカーならではの力をいかんなく発揮している。



同社の装置の一部

こうした試験装置に加え、熱エネルギーをリサイクルする研究も行っている。「地球環境を守りながら、豊かで明るい未来を創造したい」と話すのは庄司秀樹社長。電池からはじまり、地球環境まで見据える——それが、同社の経営方針になっている。今後の活躍が楽しみな企業だ。

T 0972-83316

福島県いわき市常磐西郷町

銭田106-1

TEL 0246-72-2151

<http://www.toyo-system.co.jp>

点字製品で躍進する オンリーワン企業!!

ケージーエス(株)

同社の点字ディスプレイ「KGSブレイルメモ」は画期的な製品だ。簡単にいえば、点字で打つワープロといえる。視聴覚障害者にとってはメモを取るのとすら困難を極めるが、この製品を使えば、入力した文字が点字として浮かび上がってくるのである。これまで困難だったメモが取れるため、どれだけ助かっている人がいることだろうか。

53年に創業した同社は、ソレノイド(三次元コイル)の開発生産からスタートした。その精度は高く、産業用機器から民生用機器まで幅広く対応している。今では、自動改札機などの公共設備機器をはじめさまざまな機器に同社のソレノイドが組み込まれている。

そうした高い技術をベースに、84年からは視覚障害者用点字セールの開発・販売を開始した。そして「この技術を活用して、聴覚障害者のIT化を推進できないか」という試行錯誤がはじまる。そしてついに、点字セル技術を高度に活用したコンピュータ点字表示機の商品化に成功したのである。

今では、冒頭のブレイルメモ

シリーズをはじめ、点字タイプライター、点字ラベルなども開発し、インプットからアウトプットまでラインナップをそろえている。視聴覚障害者のIT化を大きく前進させることに成功した同社。当然ながら、この分野では国内オンリーワンであり、世界でも圧倒的なシェアを持っている。

T 0255-0321

埼玉県比企郡小川町小川1004

TEL 0493-72-7311

<http://www.kgs-jpn.co.jp>



持ち運びもできるコンパクトな点字ディスプレイ「KGSブレイルメモ」

蓄積された技術と 若い感性が強み!!

日本電鍍工業(株)

58年に設立した同社の専門はメッキ。設立当初は時計外装部品の貴金属メッキを手がけ、大手時計メーカーの指定工場となった。これを機に業績は順調に成長した。しかし、時計メーカーはすでに成熟産業だったこともあり、いち早く海外展開を図った。すると同社の業績は急速に悪化。膨らむ赤字で、いっそ会社をたたもうかという危機に手を上げたのが、先代社長の娘で、現社長の伊藤麻美氏だった。

伊藤社長の経歴はかなりユニークだ。フリーランスのDJとして、FMラジオなどで活躍。その後、アメリカに留学し、宝石の鑑定士・鑑別士の資格を取得している。およそ「モノづくり工場」とは縁がなかったが、実家の危機を知って00年に家業を継ぐことと決心したのである。

とはいうものの、この分野には、女性でしかも30代の社長はほとんどいない。当然、風当たりは強かった。しかし、会社を愛する社員たちと奮闘した結果、就任3年目あたりから黒字化を達成できたという。「脱時計メッキ」を掲げ、楽器や電子部品、医療機器などのメッキ加工を増やして行ったことが奏功したよ

電機メッキを施した管楽器



うだ。

今では管楽器や眼鏡フレームに施す「電気メッキ加工」、コネクタなどの電子部品に施す「無電解メッキ加工」、医療器具や住宅のドアノブなど耐摩耗加工のためにチタンコーティング処理を施す「イオンプレATING」など、技術の幅も着実に広がっている。蓄積された技術と若い感性がマッチした同社は、日本の「モノづくり」の新しい形になるかもしれない。

〒331-0826

埼玉県さいたま市北区日進町

1-137

TEL048-665-8135

<http://www.nihondento.com>

医療福祉イノベーション塾

高齢者が便利で使いやすく、快適な生活を送れる商品やサービスについて考えるのが目的。正式名称は「高齢者を対象とする医療福祉イノベーション塾」。経済産業省の平成22年度産業技術人材育成支援事業(産学人材育成パートナーシップ「経営・管理人材分科会」プログラム開発・実証)に採択され、実施している事業。

提案者は(財)埼玉県中小企業振興公社で、コンソーシアムメンバーには埼玉県立大学、NPO法人新都心イノベーションパートナーズ、(社)埼玉県経営者協会、(財)埼玉りそな産業協力財団、埼玉県(新産業育成課)。



野長瀬教授「モノづくり通信簿」に「サイエンス」が登場(「コロンブス」2月号)

「廃熱利用で、二酸化炭素の排出量を大幅にカットしながら、エネルギーコストを削減する」。サイエンス(株)が手がけるヒートポンプシステム「ecoマルチ・ヒーポン」は、そんな夢のようなニーズに応えるスグレモノだ。ヒートポンプをひとりでいうと、空気や水が持っている熱を使って、給湯や冷却ができるシステムのこと。たとえていうならば、エアコンの室外機から出る温風や冷風の熱量をリサイクルするような仕組みだ。

もともとエアコン設置のエンジニアだった桑原克己社長は独立後、人のためになり、やりがいのある仕事を模索。その結果、着目したのが「水」だった。「ちょうど世の中でガンが流行していたときに、その原因について考えはじめた。そして、水環境を良くすれば、人は健康になれるのではないかと考えた」という。

こうして桑原社長は「人工岩清水機」を開発し、さらにそれを発展させて「岩清水温泉器」という24時間風呂も開発した。これは風呂のお湯を循環・浄化・保温して、いつでも入浴可能にした浴水循環過装置のこと。発売後はその利便性が話題となり、わずか15年で同業他社を合わせて200万台が売れたという。

「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授



「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授

「24時間風呂はレジオネラ菌を繁殖させる」という報道があつた途端、その売上げが激減。「検証した結果、レジオネラ菌はほとんど確認できなかったが、もはや後の祭りだった」と桑原社長は悔しがる。

だが、桑原社長はこのピンチを見事にチャンスに変えた。3年もの開発期間を経て、廃熱回収型ヒートポンプシステム「ecoマルチ・ヒーポン」をつくりあげたのだ。そして、近年のエコブームがこのヒートポンプシステムの追い風となった。大手食品メーカーに導入したところ、「従来の60%以上も二酸化炭素を削減しながら、ランニングコストも50%以上カット」という高データを得たのだ。その結果、その食品メーカーはそのほかの工場でも、サイエンスのヒートポンプシステムを採用することになったそうだ。

さらに、最近では工場だけでなく、介護施設やホテルなどからの引き合いも続々と増えている。まさに不屈の精神を持って、研究開発に挑む桑原社長。これからは「環境」「省エネ」「水」

をキーワードにエコな社会に貢献しつづけてほしいものだ。

サイエンス(株)

埼玉県さいたま市北区宮原町2-15-10

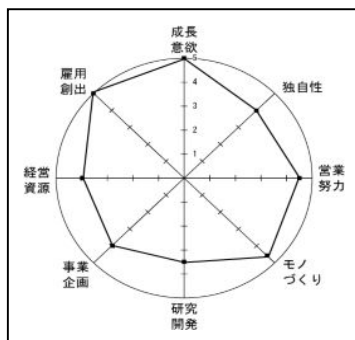
TEL048-695-7733

<http://www.science-inc.jp/>

桑原克己社長



「産業栽培度」



サロン公式サイトで「ニュース」公開中

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」



は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第19号までアップしていますので、ご覧ください。

今後も引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思っております。新商品や新技術の開発、ご意見・ご要望までふってお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト
<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

★東方通信社サイト
<http://www.tohopress.com>

問合せ：TEL03-3518-8844

e-mail：ryot@tohopress.com

月刊「コロンブス」が元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンブス』



(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元



気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。

問合せ TEL：03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人

江田元之 元(財)さいたま市産業創造財団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働商工部新産業育成課・課長／村重嘉文 (株)イーシティ埼玉・取締役会長／野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授／浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

★主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長／江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長／古川猛 月刊『コロンブス』編集長(東方通信社)／根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長／柴田孝・米沢BNO副代表